

製品名: IL-1F5 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab12519**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	17kDa

抗原情報

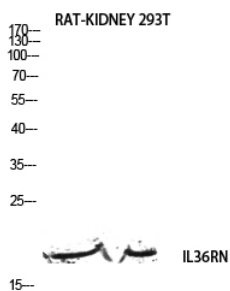
遺伝子名	IL36RN
別名	IL36RN; FIL1D; IL1F5; IL1HY1; IL1L1; IL1RP3; Interleukin-36 receptor antagonist protein; FIL1 delta; IL-1-related protein 3; IL-1RP3; Interleukin-1 HY1; IL-1HY1; Interleukin-1 delta; IL-1 delta; Interleukin-1 family member 5; IL-1F5; Interleukin-1 receptor antagonist homolog 1; IL-1ra homolog 1; Interleukin-1-like protein 1; IL-1L1
遺伝子 ID	26525.0
SwissProt ID	Q9UBH0
免疫原	抗血清はヒト IL36RN の内部領域由来の合成ペプチドに対して産生された。アミノ酸範囲: 1-50

背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、インターロイキン 1 サイトカインファミリーのメンバーです。このサイトカインは、インターロイキン 1 ファミリーメンバー 6 (IL1F6) によって誘導される NF- κ B の活性化を特異的に阻害することが示されています。この遺伝子と他の 8 つのインターロイキン 1 ファミリー遺伝子は、2 番染色体上にサイトカイン遺伝子クラスターを形成します。同じタンパク質をコードする 2 つの選択的スプライシング転写バリエーションが報告されています。[RefSeq 提供、2008 年 7 月]、機能: IL-1 受容体関連タンパク質 2 を介したインターロイキン 1 ファミリーメンバー 9 (IL1F9) への応答に対する高度かつ特異的な拮抗薬です。インターロイキン-1 α (IL-1A)、 β (IL-1B) 受容体アゴニスト、およびインターロイキン-1 受容体 I 型 (IL-1R1) に類似した独立したシグナル伝達系の一部を構成する可能性があり、上皮バリアに存在し、局所的な炎症反応に関与している。誘導: マクロファージ細胞株におけるホルボールエステル (PMA) およびリポ多糖 (LPS) 処理による。オンライン情報: インターロイキン-1 の発現類似性: IL-1 ファミリーに属する。組織特異性: 主にケラチノサイトで発現するが、線維芽細胞、内皮細胞、メラノサイトでは発現しない。脾臓、脳の白血球、マクロファージ細胞でも検出される。乾癬病変部皮膚で増加する。、

研究分野

画像データ



IL36RN 抗体を用いたラット腎臓 293T 細胞溶解のウェスタンブロット解析。抗体は 1:500 に希釈し、二次抗体は 1:20000 に希釈した。